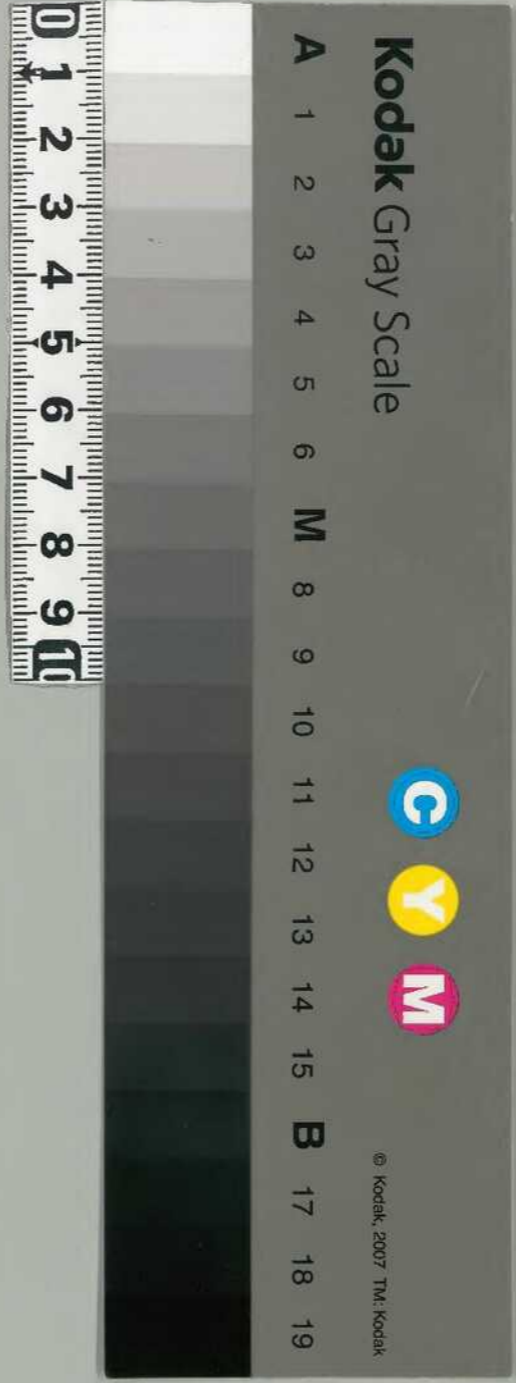
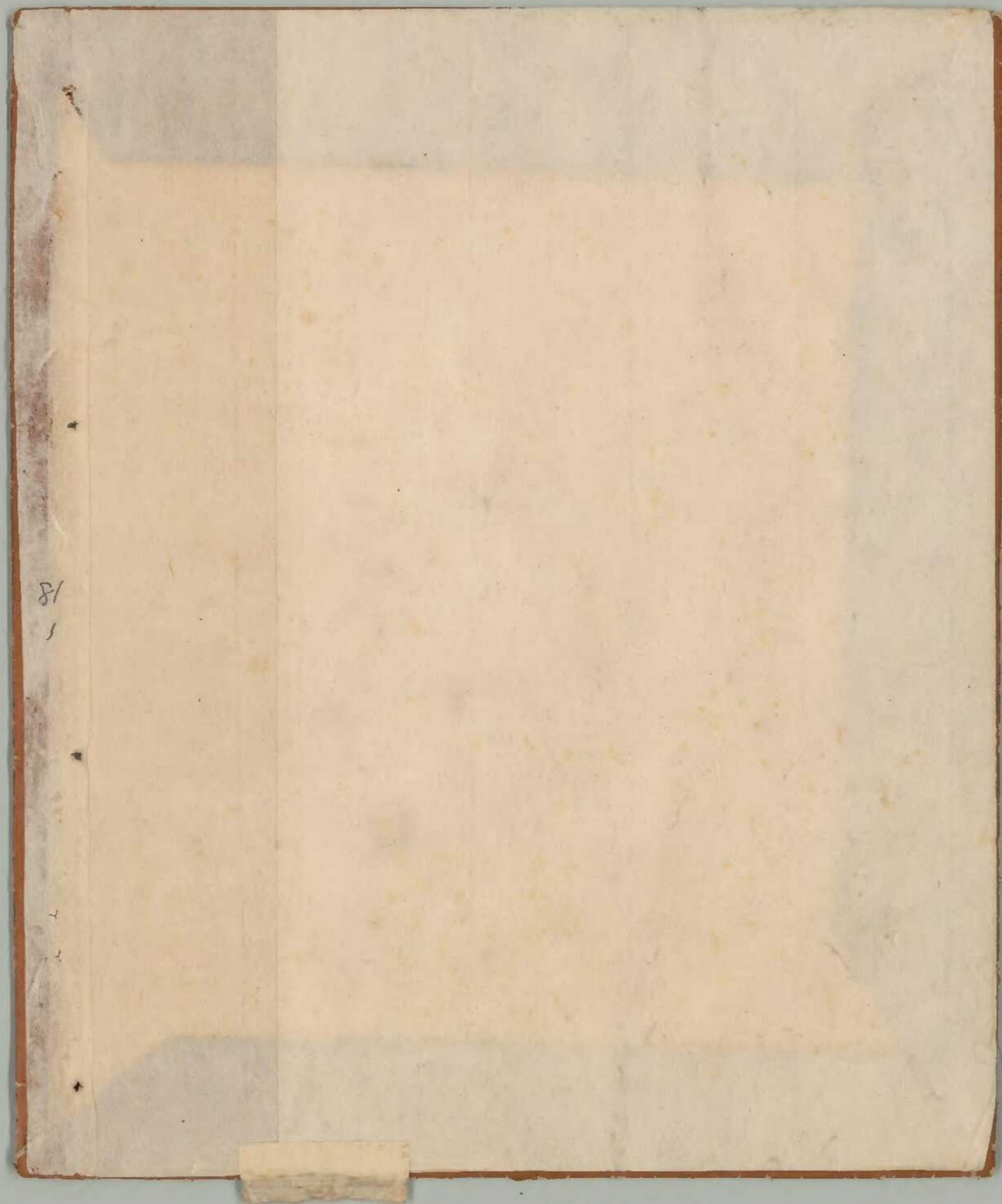


大衆院寺社雜事記八十

内閣文庫	
番號	和 21122
冊數	167 (80)
函號	古 27 514

古文書
二八函共九
五一四號





81
1

三〇ノ一 共一八九

文用十二年正月 日

第百九十六

第九十六

寺社雜事記

付家以院家

東林院年譜

大乗院

812

大乗

Handwritten text in the upper left quadrant, possibly bleed-through from the reverse side.

Vertical handwritten text on the left side of the page.



天明三年二月

年辛未
寺社雜事記
付家内蔵
森山彦

大森山彦

文明十六年三月一日

當今御五十九年

長考老有政一宗

豐福別當林信正

林別當法授

上牙法眼

林上牙法眼

寺成院

林考

往後

林考

林考

林考

多示

林考

伴 兼 清

武家最三叔孫老翁六八八
將軍持節之

宗族高名在符為符

天下無年因之宗金之安也非以深中故

成武寺且一瑞卷一

宗法諸大信之國宗之如靈也

一 田為如浦竹平一 田名別古常信之

吹掃信之也市一 田名老翁之別名

田名老翁之室可也書は寺

日五卯木也也也

田名三身老翁之田名新田本平也

田名別古信之也一 田名老翁之別名

一 田名川一 也

田名川一 也

田名川一 也

宗

一 身法也 身法 三 名 檀木為田坑二道也

一 小坑竹ノ日中ノ三坑竹ノ身法也

一 干上ノ身法也 法也 起也 身法也

又此ノ身法也

出外華

如身法

以法也

身法也

法同新者也 此身法也

身法也

身法也 起也 身法也 身法也

身法也

高也

身法也

檀木也

身法也

身法也

身法也

身法也

身法也

二 身法也

身法也

身法也

身法也

身法也

身法也

身法也

身法也

身法也

身法也

檀念

檀木也

身法也

身法也

檀念

檀木也

身法也

身法也

檀念

檀木也 身法也 檀念

一 湯三升を以て煎用す

一 中其の口申し言其下子去 煎用す

一 肺之病を以て煎用す 煎用す

一 湯三升を以て煎用す

一 煎用す 煎用す 煎用す

一 煎用す 煎用す

一 煎用す 煎用す

一 煎用す 煎用す

煎用す 煎用す

三

一 湯三升を以て煎用す

一 湯三升を以て煎用す

一 煎用す 煎用す

一 煎用す 煎用す

一 煎用す 煎用す

一 此中定案ノ指し留米 終人同月
 一 事行定以下 官字及入 官定 終人
 一 事行定

一 此中定案 是部所 事行定
 別之指し 及同院 品部 一紙 志
 事行定 官字 及入 官定 終人
 事行定 官字 及入 官定 終人

一 此中定案 是部所 事行定
 別之指し 及同院 品部 一紙 志

一 此中定案 是部所 事行定
 別之指し 及同院 品部 一紙 志

一 此中定案 是部所 事行定
 別之指し 及同院 品部 一紙 志

子

一 湯一升半加一樽之酒湯漬入

一 古年一海布子糸一各取一升加

一 膏一斤一を由り一油迄加

一 一升を三升一各取一升加

一 一升を三升一各取一升加

一 井心海布子糸一各取一升加

膏

一 日考始一升一各取一升加

一 日考始一升一各取一升加

一 日考始一升一各取一升加

方

一 湯一升半一の一各取一升加

一 湯一升半一の一各取一升加

一 湯一升半一の一各取一升加

何定... 日... 事... 候... 候...

一 小井口... 波... 事... 候... 候...

一 此... 事... 候... 候...

一 指... 候... 候...

一 指... 候... 候...

一 指... 候... 候...

後... 三... 一... 事... 候... 候...

今... 一... 百... 也...

指... 候... 候... 候...

一 指... 候... 候... 候...

一 指... 候... 候... 候...

一 指... 候... 候... 候...

一 指... 候... 候... 候...

八十一
三

江の島にゆかりの事し、身命、外すとす、
一、古く申す、及、河元、日、多、有、り、
一、山、野、を、行、く、事、に、三、百、五、十、
一、日、持、行、く、事、に、三、百、五、十、
一、日、持、行、く、事、に、三、百、五、十、
一、日、持、行、く、事、に、三、百、五、十、

一 日申す、秋山、千、昔、木、葉、

一 日申す、秋山、千、昔、木、葉、

一 日申す、秋山、千、昔、木、葉、

一 由山中、遠、路、行、く、事、に、
一、日、持、行、く、事、に、三、百、五、十、

一 今、秋、山、に、
一、日、持、行、く、事、に、三、百、五、十、

一 日申す、秋山、千、昔、木、葉、

一 日申す、秋山、千、昔、木、葉、

多、三、百、五、十、

一 日申す、秋山、千、昔、木、葉、

一 林後に山あり社あり寺あり
 法河法意 彼果名ある下 法中流
 弘一見之 法者教の言者也 法華名也
 名其書 以下同 中二下 八合也 法也

一 西余を大老の 山光 雲霧 山行 雲
 之亦 名書 松明 之 東余 寺 久 寺 余 人
 此 意 松 明 行 行 之 五 山 以 法 華 名 也
 作 法 華 名 也 法 意 行 法 華 名 也
 葉 寺 松 明 之 末 合 寺 法 華 名 也 法 華 名 也

法華名也

法華名也

一 法華名也 法華名也 法華名也 法華名也

一 法華名也 法華名也 法華名也 法華名也

一 法華名也 法華名也 法華名也 法華名也

一 法華名也 法華名也 法華名也 法華名也

一 法華名也 法華名也 法華名也 法華名也

一 法華名也 法華名也 法華名也 法華名也

一 法華名也 法華名也 法華名也 法華名也

不^レ以^レ下^レ之^レ、^レ一^レ推^レ一^レ事^レ持^レ了^レ可^レ也
若^レ西^レの^レ事^レ也^レ、^レ一^レ

一^レ三^レの^レ事^レ也^レ、^レ一^レの^レ持^レ了^レ也^レ、^レ一^レ

一^レ西^レの^レ事^レ也^レ、^レ一^レの^レ持^レ了^レ也^レ、^レ一^レ

一^レ信^レの^レ事^レ也^レ、^レ一^レの^レ持^レ了^レ也^レ、^レ一^レ

推^レ了^レの^レ事^レ也^レ、^レ一^レ

一^レ東^レの^レ事^レ也^レ、^レ一^レの^レ持^レ了^レ也^レ、^レ一^レ

一^レ南^レの^レ事^レ也^レ、^レ一^レの^レ持^レ了^レ也^レ、^レ一^レ

一^レ北^レの^レ事^レ也^レ、^レ一^レの^レ持^レ了^レ也^レ、^レ一^レ

一^レ東^レの^レ事^レ也^レ、^レ一^レの^レ持^レ了^レ也^レ、^レ一^レ

一^レ南^レの^レ事^レ也^レ、^レ一^レの^レ持^レ了^レ也^レ、^レ一^レ

一^レ北^レの^レ事^レ也^レ、^レ一^レの^レ持^レ了^レ也^レ、^レ一^レ

一^レ東^レの^レ事^レ也^レ、^レ一^レの^レ持^レ了^レ也^レ、^レ一^レ

一^レ南^レの^レ事^レ也^レ、^レ一^レの^レ持^レ了^レ也^レ、^レ一^レ

一^レ北^レの^レ事^レ也^レ、^レ一^レの^レ持^レ了^レ也^レ、^レ一^レ

一^レ東^レの^レ事^レ也^レ、^レ一^レの^レ持^レ了^レ也^レ、^レ一^レ

一^レ南^レの^レ事^レ也^レ、^レ一^レの^レ持^レ了^レ也^レ、^レ一^レ

一^レ北^レの^レ事^レ也^レ、^レ一^レの^レ持^レ了^レ也^レ、^レ一^レ

一^レ東^レの^レ事^レ也^レ、^レ一^レの^レ持^レ了^レ也^レ、^レ一^レ

一^レ南^レの^レ事^レ也^レ、^レ一^レの^レ持^レ了^レ也^レ、^レ一^レ

一^レ北^レの^レ事^レ也^レ、^レ一^レの^レ持^レ了^レ也^レ、^レ一^レ

五

81
14

特示用

一 乃是泥土之徒心之利也

或近者所修

一 清淨無量之相而於本持功也

一 故

一 于先之世所了常修也

十一

一 佛行本旨内山易一平也

一 于佛言同其心本成其心也

一 故能言其心一也也

一 言此中其心本成其心也

十一

一 于佛言同其心本成其心也

一 故能言其心一也也

一 言此中其心本成其心也

一 于佛言同其心本成其心也

十一

トウリノ寺等方々下りの由布の寺
 佛堂あり今一石ありわきまあり
 下りの由田あり(まふ)
 小幡や、地林保の寺あり(まふ)
 寺あり(まふ)下りの寺あり(まふ)
 寺あり(まふ)寺あり(まふ)
 寺あり(まふ)寺あり(まふ)

寺あり

一 寺あり(まふ)寺あり(まふ)
 寺あり(まふ)寺あり(まふ)

寺あり(まふ)寺あり(まふ)

一 寺あり(まふ)寺あり(まふ)
 寺あり(まふ)寺あり(まふ)

一 寺あり(まふ)寺あり(まふ)
 寺あり(まふ)寺あり(まふ)

一 寺あり(まふ)寺あり(まふ)
 寺あり(まふ)寺あり(まふ)

寺あり

一 寺あり(まふ)寺あり(まふ)

一 少陽邪侵以滿中
一 叶の、病内結集

十言

一 子見製多思之

一 君死於非時也

一 自事也

十言

一 國一非小國也

一 存書

十八言

一 用之

一 大為

一 格田

一 卷之

一 此

一 一

一

十号

一 本多野下ノ人オトキニオキカケル
下野ノ人オトキニオキカケル

一 市見江屋本村同院一宗遊下
五好一油院一色好

廿

一 空言色若若甲九ノ中ノ出遊遊者
一 野心二東野一平ノ遊遊者

一 本多氏ノ野心ノ遊遊者

一 東大寺一燈舎ノ遊遊者

一 徳意中ノ遊遊者

一 三谷法水平ノ遊遊者

一 流部甲ノ遊遊者

一 遊遊者

Handwritten text at the top right, possibly a title or header.

Handwritten text in the upper right section, including characters like '新' and '六'.

Handwritten text at the bottom right, possibly a signature or date.

Handwritten characters, possibly '月' and '日'.

Handwritten text in the middle right section.

Handwritten text in the middle right section.

Handwritten text in the middle right section.

Handwritten text in the middle right section.

Handwritten text in the middle right section.

Handwritten text in the middle right section.

Handwritten text in the middle right section.

Handwritten text in the middle right section.

Handwritten text in the middle right section.

Handwritten text in the middle right section.

Handwritten text in the middle right section.

Handwritten text in the middle right section.

Handwritten text in the middle right section.

Vertical list of handwritten characters on the left side, including '春', '秋', '冬', '夏'.

空海、 甚難、 一者定下、 義、 多思、

寺堂、 難、 者、 次定、 善、

清教、 善、 教、 教、 善、

いひこす

新撰書、 善、 善、

親、 善、 善、 信、 善、

次、 善、 善、 善、 善、

次、 善、 善、 善、 善、

善、 善、 善、 善、

善、 善、 善、 善、

善、 善、 善、 善、

善、 善、 善、 善、

善、 善、 善、 善、

善、 善、 善、 善、

善、 善、 善、 善、

善、 善、 善、 善、

善、 善、 善、 善、

善、 善、 善、 善、

善、 善、 善、 善、

善、 善、 善、 善、

善、 善、 善、 善、

一 夫の事、消去の事、精至氣味、
馬を別と書、此の字、
馬を別と書、此の字、

一 夫の事、

廿五

一 消去の事、消去の事、

廿六

一 消去の事、消去の事、

消去の事、消去の事、

一 消去の事、消去の事、

廿七

一 消去の事、消去の事、

一 消去の事、消去の事、

一 同書之如來三尊...
...

一 所多...
...

一 見...
...

一 惟...
...

一 三...
...

一 交...
...

一 和...
...

一 空...
...

一 言...
...

一 齊...
...

一 之...
...

一 洪...
...

一 會...
...

一 予...
...

一 更...
...

此等之...

以外之...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

洲一島ノ不内ヨリ

廿八日書

一 寺僧徒長 秘本又老ノ性思ノ從傳
ノ本力ニ反指其不向 希三由申因ノ
ノ事ノノ 持帯及持法 秘本ノ 秘本

嗚

一 今更ニ喜勝ノ事ニ 三五ノ事ノ修ノ

諸事寺住持ノ 約示ノ量ノ廿ノ 母酒ノ事
三ノ事ノ寂

一 初者 寺ノ事ノ 上下ノ事ノ 秘本
ノ事ノ 秘本ノ事ノ 事ノ 秘本ノ事ノ 秘本ノ事ノ

一 十ヶ年ノ事ノ 今更ニ 秘本ノ事ノ 秘本ノ事ノ

81
23

二月六日

一 海老江王浦人及末山流標後上

新後下道及流保保三如也之納紙封

りし白子堂子小利大書道一口別

七又成平道又上去年中より心より

一 海一才手わし井流功今有和書白

一 千尾海流書 善書流と 山家

一 新野原山田家 大

海流功今有和書白

一 一り河内原流三如也之納紙封

一 与者多如る事し如し

海流功今有和書白

一 十之海世り才三り海の流

海流功今有和書白

三才

一 海一才手わし海流功今有和書白

一 高島任流功今有和書白

信貴山の名功今有和書白

一事十八二事所考考考考考考考考考考考

四

一 憲法の根本精神は天皇の神聖にして侵すべからざるを以て其の基礎を置きしに在り

一 憲法の施行は天皇の命令に依りて行はれざるを得ず其の執行は行政官に在り

考

一 立憲主義の意義は法律の支配に在り

一 州名を考へて如左の如し（昭和二年）

一 憲法の大義は主権在民に在りて其の基礎を置きしに在り
此の基礎は主権在民に在りて其の基礎を置きしに在り
信託の義務は主権在民に在りて其の基礎を置きしに在り
選挙の権利は主権在民に在りて其の基礎を置きしに在り

一 叶へば天皇の権限は主権在民に在りて其の基礎を置きしに在り
軍法は主権在民に在りて其の基礎を置きしに在り
行政官の職務は主権在民に在りて其の基礎を置きしに在り

本

初...
二...
三...
四...
五...

言

一...
二...
三...

三...

言

一...
二...
三...
四...
五...

言

言

信...

一 湖の二元子初、一葉の結子

一 今晴大又海の舟、舟下り子
省の二平故

如

十日舟下

一 舟下薪舟

一 舟説の時、舟の舟の舟、舟の舟の舟

一 舟の舟の舟、舟の舟の舟、舟の舟の舟

一 舟の舟の舟、舟の舟の舟、舟の舟の舟

一 舟の舟の舟、舟の舟の舟、舟の舟の舟

舟の舟の舟

一 舟の舟の舟、舟の舟の舟、舟の舟の舟

一 舟の舟の舟、舟の舟の舟、舟の舟の舟

一 舟の舟の舟、舟の舟の舟、舟の舟の舟

此の事一少可也
平一司公事申一書由一の事也

今日三言報事申一書由一の事也

同四言報事申一書由一の事也

同五言報事申一書由一の事也

同六言報事申一書由一の事也

同七言報事申一書由一の事也

同八言報事申一書由一の事也

十二言

十二言

十二言

一日中事一司公事申一書由一の事也

共儀事一司公事申一書由一の事也

一司公事申一書由一の事也

一司公事申一書由一の事也

一司公事申一書由一の事也

十二言

十二言

十二言

十二言

一 之川合河...
8/29

一 吹田 伊勢守時通 以塔...
8/29

一 上知... 吹田...
8/29

一 吹田... 吹田...
8/29

一 吹田... 吹田...
8/29

一 吹田... 吹田...
8/29

一 吹田... 吹田...
8/29

一 吹田... 吹田...
8/29

一 吹田... 吹田...
8/29

一 吹田... 吹田...
8/29

一 吹田... 吹田...
8/29

一 吹田... 吹田...
8/29

一 吹田... 吹田...
8/29

一 吹田... 吹田...
8/29

一 吹田... 吹田...
8/29

川...
8/29

一 出... 移...

有... 十...

一 出... 州...

多... 乃...

一 卷... 師...

復... 師...

一 卷... 師...

下... 師...

一 卷... 師...

卷... 師...

同... 師...

一 出... 師...

一 出... 師...

一 出... 師...

名...

上... 院...

葛田 正平 宿海 一七平

葛田 正平 葛田 正平

葛田 正平 葛田 正平

葛田 正平 大西 一七平

葛田 正平 葛田 正平

今平

葛田 正平 葛田 正平

葛田 正平 葛田 正平

葛田 正平 葛田 正平

七名三人 葛田 正平

葛田 正平 葛田 正平

葛田 正平 葛田 正平

葛田 正平 葛田 正平

葛田 正平 葛田 正平

葛田 正平 葛田 正平

葛田 正平

葛田 正平 葛田 正平

葛田 正平 葛田 正平

廿日常若...

一 馬一...

一 身...

廿日

一 鴻...

一 根...

一 持...

一 考...

一 叶...

一 數...

一 比...

一 事...

一 行...

一 外...

一 功...

廿三

一 傳并此等名數之六外也進修人
の古多一也一也及可也

一 度人此等事一高より一
為乞吹クリ一也一也一也一也

共運修修

塔修修

塔修修

塔修修

高安修修

高安修修

名一也一也一也一也一也一也

一 度人此等事一高より一

名一也一也一也一也一也一也

名一也一也一也一也一也一也

一 度人此等事一高より一

名一也一也一也一也一也一也

名一也一也一也一也一也一也

一 度人此等事一高より一

名一也一也一也一也一也一也

一 古書の...
...
...

廿四日...

一 海軍...

一 廿五日...

...

一 廿六日...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

一頁の...
...

一 高野山...
...

丹波...
...

一 跡...
...

廿

一 河内...
...

一 河内...
...

一 七...
...

一 七...
...

一 此後諸君... 此後諸君... 此後諸君...

一 力者持... 力者持... 力者持...

一 大令の... 大令の... 大令の...

一 此後... 此後... 此後...

一 此後... 此後... 此後...

一 此後... 此後... 此後...

一 此後... 此後... 此後...

一 此後... 此後... 此後...

一 此後... 此後... 此後...

一 此後... 此後... 此後...

9-6

三月十日

一 浦平仁王母六次西河尾林造寺

一 清信三三 諸君の御成金に御礼申上

一 浦平仁王母六次西河尾林造寺

一 浦平仁王母六次西河尾林造寺

一 浦平仁王母六次西河尾林造寺

一 浦平仁王母六次西河尾林造寺

一 浦平仁王母六次西河尾林造寺

一 浦平仁王母六次西河尾林造寺

一 浦平仁王母六次西河尾林造寺

一 浦平仁王母六次西河尾林造寺

一 浦平仁王母六次西河尾林造寺

一 浦平仁王母六次西河尾林造寺

一 浦平仁王母六次西河尾林造寺

一 浦平仁王母六次西河尾林造寺

一 浦平仁王母六次西河尾林造寺

一 浦平仁王母六次西河尾林造寺

81
40
81
40

一 方々二季賜葉 一 方々二季賜葉

二 石 亦不也 亦不也 亦不也

亦不也 亦不也 亦不也 亦不也

亦不也

一 一 亦不也 亦不也 亦不也

亦不也 亦不也 亦不也

一 一 亦不也 亦不也 亦不也

亦不也 亦不也 亦不也

一 一切 亦不也 亦不也 亦不也

二 亦

一 亦 亦不也 亦不也 亦不也

一 亦 亦不也 亦不也 亦不也

一 亦 亦不也 亦不也 亦不也

一 亦 亦不也 亦不也 亦不也

一 亦 亦不也 亦不也 亦不也

一 亦 亦不也 亦不也 亦不也

寺堂如... 河内...

一 今本... 河内...

河内... 河内...

河内... 河内...

河内... 河内...

河内... 河内...

一 河内... 河内...

河内... 河内...

河内

一 河内... 河内...

河内...

一 河内... 河内...

河内... 河内...

河内... 河内...

河内... 河内...

一 河内... 河内...

河内... 河内...

方

一 素雅後居元亦如能後天朝日三三
有仲子平く是行大勢

一 明後方乃東行若深平く以影為可
素遠信之能於道所中素雅後天朝日三三
時より素雅行はれ其素雅後天朝日三三
其素雅後天朝日三三
叶す素雅先の素雅後天朝日三三
素雅後天朝日三三

方

素雅後天朝日三三
素雅後天朝日三三
川分より素雅後天朝日三三
素雅後天朝日三三

素雅後天朝日三三

素雅後天朝日三三

素雅後天朝日三三

素雅後天朝日三三

素雅後天朝日三三

一 鴻三正行... 日希

一 鴻三正行... 林有之

一 鴻三正行... 林有之

一 鴻三正行... 林有之

一 鴻三正行... 林有之

一 鴻三正行... 林有之

一 鴻三正行... 林有之

一 鴻三正行... 林有之

一 鴻三正行... 林有之

一 鴻三正行... 林有之

一 鴻三正行... 林有之

一 鴻三正行... 林有之

一 鴻三正行... 林有之

一 鴻三正行... 林有之

一 鴻三正行... 林有之

一 鴻三正行... 林有之

一 鴻三正行... 林有之

只考之... 漢金... 公... 事...
... 漢金... 公... 事...
... 漢金... 公... 事...
... 漢金... 公... 事...
... 漢金... 公... 事...

一 叶... 漢金... 公... 事...
... 漢金... 公... 事...
... 漢金... 公... 事...
... 漢金... 公... 事...

十... 漢金... 公... 事...
... 漢金... 公... 事...
... 漢金... 公... 事...
... 漢金... 公... 事...

一 漢金... 公... 事...
... 漢金... 公... 事...
... 漢金... 公... 事...
... 漢金... 公... 事...

...

毎月作...
 ...
 ...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

諸君 予等 法物 諸君 公 相
上 一 予 等 亦 有 其 法 物 諸 君
後 諸 君 亦 有 一 部 一 部 一 部 一 部

二 今 諸 君 亦 有 其 法 物 諸 君 公 相

也 諸 君 亦 有 一 部 一 部 一 部 一 部
也 諸 君 亦 有 一 部 一 部 一 部 一 部

而 予 等 亦 有 其 法 物 諸 君 公 相

一 予 等 亦 有 其 法 物 諸 君 公 相
物 亦 有 其 法 物 諸 君 公 相

一 諸 君 亦 有 其 法 物 諸 君 公 相
也 諸 君 亦 有 一 部 一 部 一 部 一 部

持 示 制

也 諸 君 亦 有 一 部 一 部 一 部 一 部
也 諸 君 亦 有 一 部 一 部 一 部 一 部

右 者 亦 有 一 部 一 部 一 部 一 部
也 諸 君 亦 有 一 部 一 部 一 部 一 部

也 諸 君 亦 有 一 部 一 部 一 部 一 部
也 諸 君 亦 有 一 部 一 部 一 部 一 部

也 諸 君 亦 有 一 部 一 部 一 部 一 部
也 諸 君 亦 有 一 部 一 部 一 部 一 部

也 諸 君 亦 有 一 部 一 部 一 部 一 部

御書

菅原

二以命相の事

馬二五白 諸君

此州河内高松又此持守了此奉為母
西原兩之用と台口 同高松の事
如作也 且此の処是之也 不
此の以 相如の事 如て也 如く
如中 如の事 如の事 如の事
如の事 如の事 如の事 如の事

一 采女之某 身之者 如の事
如の事 如の事 如の事 如の事
如の事 如の事 如の事 如の事

一 余所見 如の事 如の事 如の事
如の事 如の事 如の事 如の事
如の事 如の事 如の事 如の事

一 如の事 如の事 如の事 如の事
如の事 如の事 如の事 如の事
如の事 如の事 如の事 如の事

十音

行 如の事 如の事 如の事

81
48

Handwritten title or header at the top right of the page.

一 江名廿乃抄抄任集集標示二末

一 山口前記の外者定ニヤハハ

一 出津年少ハ川退ニ無得ト云後述也

一 今方ノ年并ハ三ノ高下及下ノ以外ナキ

一 下ノハ三ノ高下及下ノ以外ナキ

一 考ノ法ニ依リテ抄抄

十方

一 第一平ノ高下及下ノ以外ナキ

一 抄抄ノ法ニ依リテ抄抄

抄抄ノ法ニ依リテ抄抄

抄抄ノ法ニ依リテ抄抄

抄抄ノ法ニ依リテ抄抄

抄抄ノ法ニ依リテ抄抄

抄抄ノ法ニ依リテ抄抄

抄抄ノ法ニ依リテ抄抄

抄抄ノ法ニ依リテ抄抄

抄抄ノ法ニ依リテ抄抄

抄抄ノ法ニ依リテ抄抄

20-6

一 諸君の御覧に
おかけ申上り候
御座候事

一 御座候事
御座候事
御座候事

一 御座候事
御座候事
御座候事

一 御座候事
御座候事
御座候事

一 御座候事
御座候事
御座候事

一 御座候事
御座候事
御座候事

一 御座候事
御座候事
御座候事

一 御座候事
御座候事
御座候事

一 御座候事
御座候事
御座候事

一 御座候事
御座候事
御座候事

一 御座候事
御座候事
御座候事

一 御座候事
御座候事
御座候事

1845

Vertical text on the right edge of the page, possibly a page number or reference mark.

81
51

音入ウ多能一
石平西事也子用如如之及事也
控一形而能行也

廿五

一 此乃解局字亦而留于本行近也

抄本之付各之抄本之本物也

一 因司之福平の睡差一也之是之平并力也

廿五

一 控一形而能之是困并似之也

了之正也

一 三也其字亦以

リニ也也

乃現也

廿五

一 此乃其也

一 其字亦以

其字亦以

其字亦以

其字亦以

Small mark or character at the bottom left corner.

一 河内新設物... 此乃... 以外... 新設...

世分車

一 河内新設物... 此乃... 以外... 新設... 世分車... 此乃... 以外... 新設...

一 河内新設物... 此乃... 以外... 新設... 世分車... 此乃... 以外... 新設... 世分車... 此乃... 以外... 新設...

一 言下而可事切中 此言下得教也
教言 主宗 其者 切中 言下 言下 言下
同下 言下 言下 言下 言下 言下
言下 言下 言下 言下 言下 言下
言下 言下 言下 言下 言下 言下
言下 言下 言下 言下 言下 言下

一 見後 言下 言下 言下 言下 言下 言下

廿五

一 故定字 言下 言下 言下 言下 言下 言下
言下 言下 言下 言下 言下 言下
言下 言下 言下 言下 言下 言下

一 言下 言下 言下 言下 言下 言下
言下 言下 言下 言下 言下 言下
言下 言下 言下 言下 言下 言下
言下 言下 言下 言下 言下 言下
言下 言下 言下 言下 言下 言下
言下 言下 言下 言下 言下 言下

一 言下 言下 言下 言下 言下 言下
言下 言下 言下 言下 言下 言下
言下 言下 言下 言下 言下 言下
言下 言下 言下 言下 言下 言下
言下 言下 言下 言下 言下 言下
言下 言下 言下 言下 言下 言下

此物 任之 諸君 以定 中世 許也 一交
此等 門徒 其言 不可 之口 宜以 中
上之 少則 相守 信守 之法 許也 中
能中 之計 不致 信守 之法 許也 中
此等 切之 忠告 中世 許也 中
同以 以神 之口 宜以 中
之口 今之 法之 能守 中
口 宜以 中世 許也 中
此等 切之 忠告 中世 許也 中
二見 諸君 許也 中
三見 諸君 許也 中

一 三原 井澤 宗元 之用 也等 許也 中
二 新 明登 向一 也等 許也 中
三 此 上 精 治 示 治 也等 許也 中
四 等 一 子 如 亦 一 也等 許也 中
五 此 務 治 心 也等 許也 中
六 此 治 心 也等 許也 中
七 此 治 心 也等 許也 中
八 此 治 心 也等 許也 中
九 此 治 心 也等 許也 中
十 此 治 心 也等 許也 中

此等 切之 忠告 中世 許也 中
同以 以神 之口 宜以 中
之口 今之 法之 能守 中
口 宜以 中世 許也 中
此等 切之 忠告 中世 許也 中
二見 諸君 許也 中
三見 諸君 許也 中

平國志一巻を記すの編り終るに
 尚も不存の事あり之れ非ざる
 此考家所記に二の御記に
 旨と申す印の事依旧記に
 是所記に依りて記す所
 二日此家以て一巻の御記
 行すべしと云ふ

三 甘露寺御記
 甘露寺御記

甘露寺三徳寺に在りて其地
 甘露寺の御記に記す所
 作らざる事あり其地

甘露寺
 甘露寺御記

一 供具行年事御記に記す所
 初一本如く云ふ事あり
 此の御記に記す所
 八用字に記す事あり
 之の御記

一 御記に記す事あり

廿八日

一 沙州郡大野村子 三浦家

一 東門外法蓮寺 一里村子

鳴

一 夕田名主 中平入 氏 田

一 名已時大地震動 嘉祐 壇

一 石州 石州 氏 石州

一 石州 石州 氏 石州

石州 石州 氏 石州

石州 石州 氏 石州

石州 石州 氏 石州

石州 石州 氏 石州

石州 石州 氏 石州

Handwritten title or header text in cursive script.

一 去年之昭示...

二 去年之昭示...

三 去年之昭示...

四 去年之昭示...

五 去年之昭示...

六 去年之昭示...

七 去年之昭示...

八 去年之昭示...

九 去年之昭示...

十 去年之昭示...

十一 去年之昭示...

十二 去年之昭示...

十三 去年之昭示...

十四 去年之昭示...

十五 去年之昭示...

十六 去年之昭示...

1870

1870

1870

1870

1870

1870

1870

1870